

中京大学広報

建学の精神
学術とスポーツの
真剣味の殿堂たれ

発行 中京大学広報部
〒466-8666
名古屋市昭和区八事本町101-2
TEL (052) 835-7111 (代)
http://www.chukyo-u.ac.jp

2007年度 中京大学 学位記授与式



中京大学文化市民会館で行われ、学部卒業生と大学院修了生3100人が集った卒業式

2007年度

卒業式

矜持高く実社会へ羽搏く

11学部……………2987人

12研究科……………129人

二〇〇七年度の本学卒業式は三月十九日、名古屋・金山の中京大学文化市民会館オーロラホールで午前午後二回に分けて行われ、十一学部の卒業生三千九百八十七人と大学院十二研究科の修了生八百九十九人、専攻士九人、修士九十五人、専門職学位二十五人に北川薫学長から卒業証書、学位

卒業、修了生累計 10万人上回る

中京大学の学部卒業生と大学院修了生の累計が一万一千三百五十三人(卒業生九万九千三百十一人、修了生二千四百二十二)となり、十万人の大会を超えた。

本学は中京短期大学として五四年(昭和二十九年)に創立し、五六年に四年制の大学となった。開学時は商学部一学部だったが、徐々に学部、研究科を増やし、七一年には豊田キャンパスを新設。現在は十二学部、大学院十二研究科を持つ総合大学に発展している。学部卒業生は、八一年に三万人、九一年に五万人、九八年に七万人、〇四年に九万人をそれぞれ超えた。

学部別卒業生数

学部	学科	07年度	累計数
文	国文	—	5,317
	英文	1	4,882
	心理	—	4,212
	日本文	81	149
	言語表現	76	157
国際英語	国際英語	75	250
	英米文化	94	263
	心理	184	953
	社会	331	6,132
	法	323	15,613
	経済	336	6,559
	経営	338	4,767
商	商	235	14,072
	経営	—	9,797
情報科	情報科	123	1,740
	認知科	76	1,095
	メディア科	99	549
生命システム	身体システム	139	139
体育	体育科	423	17,299
	健康科	101	3,665
	武道	—	1,516
短大			185
総累計			99,311

*07年度卒業生数は07年9月卒業を含む (人)

主な内容

- 卒業式/卒業生・修了生十万人
- 学長式辞/総長祝辞/受賞者
- 退職教員の一言/博士学位授与
- 副理事長に梅村清英理事/入学志願者/名古屋銀行と協定締結
- 健康長寿研究成果発表会/TOEIC/私の教育・辻井正次教授
- 吹上ホールで企業セミナー/国家資格試験合格五百五十人超す
- 国際英語学部発表会/学費表
- 総合政策学部発表会/健康運動指導士養成校に/中日球団に報告
- 文化会クラブ発表会/新五号館完成/リーダーズキャン
- 体育会・文化会新執行部/表彰同窓会五十周年/同窓会北海道学校部会/八重山地区同窓会
- 三重中京大学ニュース
- 鶏飼健吾選手がJリーグ入り
- 公開講座(山田満知子先生) / C・スクエア〇八年度企画展

学長、総長・理事長 激励のメール送る

北川学長は式辞で「他人の気持ちを察する心と謙虚さを失わず、『職業人としての自覚と倫理』を持って、自分の能力、個性を発揮し、梅村清弘総長・理事長は祝辞で「本学がここまで発展したのは、時代の動きに対応して社会のニーズに合わせるべく改革に努め、質の向上を目指してきたからです。皆さんも自らの『品』と『質』の向上を目指し、真剣味に改革改善に取り組んでください」と、はなむけの言葉を送った。

卒業生、修了生らは式辞に真剣に聞き入り、覚悟を新たにしました。学業や課外活動で優秀な成績を収めた卒業生らに学長や学部長賞、優等賞などが授与された。(2・3面に式辞・祝辞の概要、各賞受賞者名を掲載)

卒業式 喜び満つ門出



旅立ちへ決意も固く 北川学長の式辞を聴く卒業生たち。保護者計650人も参列し2-4階で見守った。

Vサイン、こぶしに漲る充実感！
式の後、別れを惜しみ互いの健闘を誓って記念撮影

受賞者

カッコ内は出身校)

スポーツや文化会の行事などで活躍した卒業生に、梅村清弘総長・理事長から創立者賞、団体賞理事長杯などが贈られた。



式辞

(大要)

学長 北川 薫



「謙虚さ」失わずに 「職業人自覚」強く

皆さんの登場を待つ現在の日本は失業率の改善や就職率の改善に経済の回復が表れているように、皆さんの個人の将来展望にも明るさを与えています。

しかし、国内においては人口の減少と高齢化による国力低下の問題があり、テロや地球温暖化、地球規模の伝染病など世界情勢も楽観できません。

何より、これまでの日本社会や国民生活を支えてきた「安全」「信頼」という土台が大きく揺るがされる

このような難しい時代には皆さんは社会に出ていくことになるわけですが、私が大事だと思っていることを二つお伝えします。

一つは、「自分という存在は社会とともにあり、他者の能力、個性を發揮してほ

事態が露わになり、個人や企業におけるモラルの低下を示す事件、社会の安全をおびやかす信頼を失わせる事故が相次いでいます。 謙虚さ、失わずに、職業人自覚、強く、このように難しい時代には皆さんは社会に出ていくことになるわけですが、私が大事だと思っていることを二つお伝えします。一つは、「自分という存在は社会とともにあり、他者の能力、個性を發揮してほ

事態が露わになり、個人や企業におけるモラルの低下を示す事件、社会の安全をおびやかす信頼を失わせる事故が相次いでいます。 謙虚さ、失わずに、職業人自覚、強く、このように難しい時代には皆さんは社会に出ていくことになるわけですが、私が大事だと思っていることを二つお伝えします。一つは、「自分という存在は社会とともにあり、他者の能力、個性を發揮してほ

学長賞

◆文 日本文田由美由貴愛知
◆桜台「言語表現」泉宮嘉恵(香川・観音寺第一)

◆国際英語「国際英語」久野明日香愛知北「英米文化」井上和美愛知中京大中忍

◆心理 伊東沙季静岡
◆社会 松井給里(広島福山映の星女子)

◆法 野田守宏愛知・大学入学資格検定
◆経済 内尾弥生愛知岡崎北

◆経営 坂本朋美(富山・高岡商業)
◆商 三室慎子(石川・鹿西)

◆情報科「情報科」菊池憲一(愛知・豊橋南「認知科」田波賢治(茨城・佐和)「メディア」阿科大浦麻衣(富山・丹波)

◆生命科学システム工 浅畑智美(富山・呉羽)
◆体育・体育科 鈴木翔子愛知・知立東「健康科」森田雅彦(東京・小山台)

◆文 日本文田中のみ愛知・夫白「言語表現」齋木美沙(三重・四日市)

◆国際英語「国際英語」小林香央里(三重・桑名)「英米文化」中嶋穂穂(愛知・半田)

◆心理 堀恭子(愛知・千種)
◆社会 寺町明日香愛知・名古屋南

◆法 美尾谷佑哉(福井・敦賀)
◆経済 芳賀法子(愛知・名古屋西)

同窓会賞

◆文 日本文田山田智子(愛知・旭野「言語表現」林祐子(愛知・中京大中忍)

◆国際英語「国際英語」安達礼奈愛知・名東「英米文化」藤森あすか(愛知・千種)

◆心理 川合麻美(愛知・向陽)
◆社会 西山記代(福井・高志)

◆法 山本耕三(三重・四日市南)
◆経済 浜本昌代(福井商)

◆経営 森沙希(三重・津南)
◆商 坂倉健代(三重・四日市)

◆情報科「情報科」石田舞(三重・鈴鹿)「認知科」田中曉静岡・袋井「メディア科」水野順子(愛知・長久手)

◆生命科学システム工 伊藤雅彦(愛知・名城大附属)
◆体育「体育科」土屋温千葉・長生「健康科」藤野木綿一郎(岐阜・瑞陵)

◆情報科「情報科」若松秀明(愛知・春日井)
◆生命科学システム工 三輪麻利子(岐阜・大垣東)富田梓(愛知・碧南)

◆体育「体育科」杉山遊(岐阜・北佐藤慎也)神奈川・西湘柴田愛美(愛知・安城東)佐藤太二(長野・吉田)井上功一郎(岐阜・北)太田利亨

優等賞

◆心理 小林美菜子(愛知・明和宮阪明日香(長野・下諏訪向陽))

◆社会 松井有美(愛知・旭野)福島誠也(愛知・桜台)柴田祐加子(愛知・宮南)日吉由佳理(大阪・向陽台)洞田和美(愛知・蒲郡東)國分尚美(富山・高岡西)

◆法 山田麻祐子(愛知・皇城)清水弥生(愛知・名古屋南)村松摩利子(愛知・桐山女学園)古久保清和(岡山・田辺喜多悠一(三重)神田明香(愛知・岡崎北))

◆経済 菊貴世(愛知・二宮小塚未沙(三重・四日市)徐紅梅(中国)伊藤啓太(愛知・新城東)酒井真紀(愛知・北伊藤祥孝(愛知・瑞陵))

◆経営 小澤昌之(愛知・松蔭)岡崎有里子(愛知・国府山)本久依(愛知・豊橋東)木村友彦(岐阜・東濃実業)加藤真美(愛知・豊田西)長屋誠吾(岐阜・損斐)

◆商 北村麻衣(三重・セントリゼ)女子学園)市川真崇(愛知・豊橋商業)加藤友梨(愛知・豊橋東)

2007年度

「真剣味」秘め

胴上げも力強く
後輩たちに胴上げされる卒業生



栄えの

(敬称略)

優秀な学業成績を収めた卒業生に、北川薫学長、土方清同窓会長らから学長賞、優秀同窓会賞、同窓会賞、学部長賞、同窓会賞、賞が贈られた。また、ス

晴れ着、スーツ姿 で心も晴れやか

卒業証書や祝福の花束を手に溢れる笑顔、笑顔…

祝辞

(大要)

総長・理事長 梅村 清弘



「品」と「質」の向上を 建学の精神を胸に

善くして成長なし」と、なりました。日役、改善に取り組んで、公務員試験最難関の国家長、「カイゼン」は世界の一種法文系では四人が合格成長のキーワードになりま名大の六人に肉薄、国家II種、国税専門官、地方公務員、賞、年金問題をはじめとする官の不祥事で官民とも倫理観の欠如と無責任さが透けて見え、信頼で築かれた国の根底が崩れました。皆さんは「中京大卒業修了」という信頼を得て、巣立ちますが、

入学、卒業式を行っているこの会場が「中京大学文化市民会館」に名を改めて、初めて送り出すのが皆さんであります。中京大学は、いまや名古屋の文化興隆の一翼を担うまでに成長していることに誇りをもって巣

立つていただきたい。

ここで本学が発展したのは、時代の動きに対応して、社会のニーズに応えるべく、改革に努め、質の向上をめざしてきたからです。

三河の一寒村で創業したトヨタ自動車は「品質の改

善なくして成長なし」と、なりました。日役、改善に取り組んで、公務員試験最難関の国家長、「カイゼン」は世界の一種法文系では四人が合格成長のキーワードになりま名大の六人に肉薄、国家II種、国税専門官、地方公務員、賞、年金問題をはじめとする官の不祥事で官民とも倫理観の欠如と無責任さが透けて見え、信頼で築かれた国の根底が崩れました。皆さんは「中京大卒業修了」という信頼を得て、巣立ちますが、

員上級職を加え、公務員合格者は中部私学トップの座を占めました。また、行政書士三十九人、社会保険労務士二十三人が合格するなか、資格取得でも全国トップの成績で、改革改善が学生の力の向上に成果を上げてください。

創業者賞

- ◆千葉・長生)榎原慎也(愛知半田東)兼松みなむ(愛知岡崎)
- ◆大学祭実行委員会)名古屋委員長 亀井健貴(経済)愛知・富田)豊田委員 長 土土優峰(情報科)愛知(名古屋)
- ◆体育会)幹事長 清水 泰喜(体育)愛知大同工業(大田)
- ◆文化会)幹事長 川瀬 祐馬(法)岐阜)長良
- ◆体育会)体操部 外村和才(体育)埼玉)大宮東)新体操部 小山田(体育)岩手)盛岡市立佐藤有記(体育)山梨)中府工業)陸上競技部 下り藤修大(体育)愛知)中京大)小黒貴弥
- ◆体育)愛知)名城大)附属武川美香(体育)岐阜)中津商
- ◆業)早川)沙)体育)三重)桑名)水泳部 富山)貴士(体育)滋賀)章津)津村康弘(体育)愛知)中京大)中京福地尚美(体育)埼玉)ラグビー部 今田昌樹(体育)京都)東山)坂本)勇真(体育)京都)花園)長江)立)体育)愛知)高蔵寺)福井)大将(体育)京都)伏見工業)飯田)真規(体育)愛知)星城)田)全)戸)司(体育)愛知)明和)木)全)佑介(体育)愛知)春日)井)高)松)諒(体育)山口)新)開)陽)為)園)生)丞(体育)京都)伏見工業)永浦俊平(体育)宮城)仙台)台)育)英)学)園)名)倉)康)平(体育)愛知)西
- ◆陵商業)長谷川)雄)亮(体育)京都)成章)岸)本)匡)弘(体育)愛知)高蔵寺)後)藤)啓)吾(体育)愛知)中京大)中)忍)サカノ)部 上)田)一)志(体育)奈良)英)鶴)岡)建)吾(体育)愛知)中京大)中)忍)高)橋)昌)大(体育)市)立)船)橋)深)谷)朋)宏(体育)愛知)東)海)学)園)川上)高)輝(体育)静岡)清水)水)▼自転車)競技部 岩)本)拓明(体育)兵庫)日)生)学)園)第)三)▼準)硬)式)野)球)部 田)中)祐)介(体育)滋)賀)米)原)柴)田)川)平)優)次(体育)沖)縄)高)学)坪)井)雄)弘(体育)愛知)名)古)屋)梅)村)亮)太(体育)岐阜)中)京)黒)田)清)貴(体育)静岡)常)葉)学)園)菊)川)玉)置)大)治)明(体育)滋)賀)右)山)片)山)賢)志)会)三)重)▼ソフト)テ)ニス)部 奥)村)雅)治(体育)岐阜)美)濃)加)茂)葛)川)将)人(体育)香)川)尽)誠)学)園)清)水)智)和(体育)千)葉)木)更)津)総)合)▼スキー)競)技)部 押)切)望)美(体育)山)形)新)庄)北)伊)藤)あ)つ)さ(体育)滋)賀)八)日)也)▼スケ)ート)部 田)村)理(体育)新)潟)高)田)▼フ)ン)シ)ン)ク)部 大)橋)芳)恵(社会)愛知)中京)女子)大)附)属)風)間)美)術)社)会)静)岡)由)方)農)業)小)林)真)紀)子(体育)岐阜)大)垣)南)田)熊)光)菜)体)育)山)口)熊)毛)南)▼剣)道)部 田)頭)佳)苗(体育)静岡)磐)田)西)▼空)手)道)部 岡)智)恭)仁(法)岐阜)可)児)▼ウ)ェ)イ)ト)リ)フ)ッ)テ)ィ)ン)グ)部 工)藤)志)延)体)育)青)森)柏)木)農)業)▼女)子)津)東)

団体賞

理事長杯

体育会杯

創立者梅村清明



「前向きに人生を邁進しよう」

松本 昌悦

(法学部教授)

若さあふれる諸君は、立止つてはいけない。後ろを壁に阻まれ、行く手を止め見えてはいけない。唯、前に向かって邁進しよう。諸君に課せられた特権であり、義務でもある。社会に出て、

学生に贈る 退職教員の一言

長年にわたり、学生を指導し、一緒に学園生活を送ってきた教員の幾人かが、今年も三月いっばいで退職する。定年、あるいは定年抜いで退職する教員の皆さんに、「学生たちに贈る言葉」「学生たちの将来の指針となる言葉」を書いていただいた。



「自力で思考する習慣をつける」

堀田 英毅

(教養部教授)

大学四年間は「知力」「気力」「体力」を養うのに絶好の機会である。真剣に本を読む、他人と語りあい、



「人は一人で生きていけない」

樺木 貞雄

(法学部教授)

「人は、生きて、生かされて生きている」これは私の気に入っている言葉だ。人は、一人では生きていけないものである。誰かによって自分は存在し、自分



「人生すべて旅の途中」

村山 元英

(経営学部教授)

学問も、すべて旅の途中。学問の楽しさが、君の幸せを呼ぶ道しるべ。待てよ、学問は向こうからやってくることもある。もうひとりの「崇高な自



「視野広く基本的思考力養う」

塩田 寶雄

(ビジネス研究科教授)

学生時代というのは長い人生を生きていくための進路を決め、そのために必要な知的装備を調える重要な時期である。ただ進路に見合った専門知識を学ぶだけ



「夢の実現には基本を大切に」

水谷 研治

(経済学部教授)

誰もが大きな夢を持つべきである。しかし世の中は激しく動いていく。将来に確たる目標を定めることは難しい。それだからこそ、



「進みたい方向早く見つける」

網島 誠忠

(商学部教授)

自分の進みたい方向を早く見つけること。私が顧問を務めた文化会のクラブに、教員を志望して勉強のために入った学生のほとんどが、



「読書三昧で世界を広げよう」

仲宗根 誠

(経営学部教授)

大学生活をいかに有意義にするか。一つの方法として月に文庫版を二冊読む。年で二四冊、四年で約百冊となる。読書を通して多くの友達



「進路を明確に 着実な前進を」

川端 信男

(情報理工学部教授)

学生時代にはあらゆる可能性を秘めた前途が広がっている。志をもち、トップダウンの思考に基づき、進むべき道筋や修得すべき専門知識を明確にし、

博士に9人

本学は十二月五日、一月十一日に各一人、三月十九日の卒業式に七人の計九人に博士学位を授与した。

課程博士

何 俊山さん

42歳▽沖縄国際大学地域文化研究科修士課程修了▽トウバ共和国の成立と「ウリヤンハイ問題」

博士(経営学)

藤田 晶久さん

博士(情報科学)

稲葉 洋さん

修士課程修了▽スポーツ科学のための情報提示技術に関する研究

中 貴俊さん

28歳▽本学情報科学研究科修士課程修了▽大規模空間分析データの特徵把握のための可視化技術に関する研究

舟橋 琢磨さん

28歳▽本学情報科学研究科修士課程修了▽顔の階層的トラッキング・認識と顔メ

修士課程修了▽スポーツ科学のダイア創出に関する研究

渡辺 隆さん

大宏電気㈱。40歳▽福島工業専攻校卒業▽濃淡・距離画像計測処理による小型電子部品検査システム開発に関する研究

博士(体育学)

九州立大学スポーツ学部助手。30歳▽本学体育学研究科修士課程修了▽骨量・骨強度を高める運動プロ

梅村学園

副理事長に梅村清英 理事

4月1日就任 理事長を補佐

(現・理事長代理)



本学園理事会は一月三十日の定例会で、学園の組織活動等を定めた寄附行為の一部改正し、理事長を補佐する「副理事長」職を設け、梅村清英理事(現・理事長代理、経済学部)を選任する。

代理及び代行」梅村清英氏は本学経済学部卒、同大学院経済学専攻博士後期課程満期退学。博士(経済学)。経済学部講師から理事長を補佐するとともに、助教を経て、〇六年教授、〇七年学部長、〇五年理事長代理、三十八歳。

新任の3学部長と4研究科長決まる

= 就任は4月1日 =

〇八年度新任の学部長、研究科長は、任期満了に伴う学部長選挙、研究科長選挙を実施した。学部、三研究科の五人と、四月に新設する国際教養学部、任期を一年残して退職する経営学

- 研究科長の後任の計七人。任期は、経営学、商学研究科長(二年間)を除き、〇八年四月一日から二年間。
- 新任の学部長、研究科長は次の通り。名前、専門分野、年齢(四月一日就任時)。
- ▽国際教養学部長 伊藤進(いとう・すすむ) 学58歳
- ▽フランス・ルネサンス文学58歳
- ▽心理学部長 向井 希宏(むかい・まれひろ) 学54歳
- ▽現代社会学部長 松田 昇(まつだ・のぼる) 学64歳
- ▽社会学64歳
- ▽心理学研究科長 鈴木 睦夫(すずき・むつお) 学61歳
- ▽臨床心理学61歳
- ▽経営学研究科長 中條 秀治(なげうじょう・ひではる) 学55歳
- ▽経営学55歳
- ▽商学研究科長

'08年度入試志願者数

学部	学科	2008年度
文	日本文	710
	言語表現	832
国際英語	国際英語	1,063
	英米文化	701
国際教養	国際教養	1,723
心理	心理	1,984
現代社会	現代社会	1,957
法	法	2,472
総合政策	総合政策	2,595
経済	経済	2,993
経営	経営	2,622
情報理工	情報システム工	1,041
	情報知能	157
	情報メディア工	508
	機械情報工	819
体育	体育科	2,875
	健康科	1,017
合計		26,069

※国際教養学部、情報理工学部機械情報工学科は2008年4月開設。

入試全日程終わる

十月のAO入試から始まった本学の〇八年度入試は、三月十八日に一般入試と大学入試センター試験を利用入試の各後期日程の合格発表を行い、全日程を終了した。総志願者は二六、〇六九人だった。学科別の志願者は別表のとおり。試験区別の志願者は、

総志願者は2万6069人
全試験合計倍率は9・3倍

AO入試十八人、推薦入試三、三一人、一般入試一三、八〇九人、センター試験利用入試八、六九四人、特別入試七六人。募集定員に対する倍率は九・三倍(全試験区分合計)だった。

高橋 秀雄(たかはし・ひでお) 学52歳
情報科学研究科長
第一彦(かひひ・かずひこ) 学66歳
認知科学66歳
※次号(六月発行)に新任学部長、研究科長の抱負と略歴を掲載します。



協定書に署名した北川学長と築瀬名古屋銀行頭取

ビジネス・イノベーション研究科

名古屋銀行と産学連携協定 院生(中小企業診断士コース)の実習の場広げ 実習を通じ企業の経営を支援

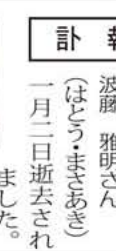
大学院ビジネス・イノベーション研究科は三月十四日、名古屋銀行(名古屋)と「産学連携の推進に関する協定」を締結した。協定は、それぞれが持つ情報や知的資源を基に連携を進め、学術研究の振興と地域経済の発展に資することを目的に締結。当面は、同時に交わした「経営支援等の連携に関する覚書」に基づき、同研究科中小企業診断士コースの院生の実習先を、同銀行取引先企業の中から紹介してもらう。院生が中小企業診断士ともなっていく。協定書には北川学長と築瀬悠紀夫頭取が署名し、今後の活発な連携推進を確認した。

AO入試十八人、推薦入試三、三一人、一般入試一三、八〇九人、センター試験利用入試八、六九四人、特別入試七六人。募集定員に対する倍率は九・三倍(全試験区分合計)だった。

グラムのトレーニングインターバルに関する検討 唐 諒陽さん
34歳▽本学体育学専攻修士課程修了▽台湾と日本における健康状態に関する比較研究
論文博士
博士(心理学)
塚田 みちるさん
本学心理学部助手。41歳▽



元就職指導部長 波藤 雅明さん (はとう・まさあき) 一月二日逝去されました。79歳。82年〜93年在職。



豊田教務課 馬場 宣昌さん (ばば・のぶまさ) 一月十日逝去されました。68歳。01年〜08年在職。

東京都立大学人文科学研究科博士課程単位修得満期退学▽乳幼児の自己調整の発達過程と親子関係の歴史

工学的アプローチで研究

本学8教員が発表会

117人参加、交流

健康長寿の研究成果活用を



8教員の研究発表を熱心に聞く参加者

本学は二月二十五日、「健康の維持増進に役立つテクノロジー」をテーマに、健康長寿関連研究成果・技術シーズ発表会を名古屋市中区・アイリス愛知で開いた。本学の研究が市民の皆様

の健康づくりに少しでも寄与できることを願い、参加企業との事業化や共同研究の契約締結を目指して実施。健康長寿産業の育成に取り組んでいる、あいち健康長寿産業クラスター推進協議会との共催で、本学の産学連携推進部門リエゾンオフィスが企画に協力した。

改組」と体育学部の教員八人が、医療・健康機器や医療ロボット、健康材料など、健康の維持・増進に工学的

生命シス
テム工学部
（〇八年四
月）情報理工
学部機械情
報工学科に
連企業、部
品・素材メ
ーカ
ーなどから
百十七人が
参加し、熱心
にメモをと
っていた。
発表会終了
後に名刺交
換会（交流
会）があり
、教員

が参加者に研究の詳細について説明している場面も見られた。
◆発表者
▽生命システム工学部長 谷川純一
▽第一学部長 井口弘和
教授、目加田慶人教授、西井匠助手、加納政芳講師、野浪亨教授、種田行男教授
▽体育学部 松本孝朗教授

TOEIC第4回学内試験

800点以上が42人

次は6月1日

本学管理・運営で行っているTOEIC（国際コミュニケーション英語能力テスト）第四回学内試験が一月二十八日に名古屋キャンパスで行われた。

受験者は千三百五十四人（男性五百三人、女性八百五十一人）で、〇七年六月の前回試験（千三百三十七人）より二百七十七人（一九・一％）増えた。

最高得点は九百十一点（女性）。他に九百点台の得点者が二人いた。八百点台は三十九人で、今回試験では四十二人が八百点以上を記録し、前回試験の二十五人に比べ六八％、十七人も増えた。平均点は四百四十九点だった。

Works Published



著書紹介
読解力を育む指導の研究
能美市立根上中学校 著
杉江 修治監修

度の実践研究をまとめたものである。
読解力という、日本の子どもが国際的に低いといわれる学力領域の充実を、協同学習という、育ち合う学習指導の原理と一体化して研究した本校のアプローチは、極めて有効なものである。
監修者は教養部教授。根上中学校に二年にわたり助言を行ってきた。日本協同教育学会刊。税込二、五〇〇円。

私の教育研究

子どものこころの発達に関する研究は、近年の生物学的精神医学の進歩のなか、新しい時代が動き始めている。遺伝子、脳画像、脳機能などの包括的な視野で、生命体としての個性の探求と、人の行う行動に関してのメ

発達障害児者の支援へ 新しい研究の形を創造

現代社会学部教授 辻井 正次

カニズム研究が進められて、なかも自閉症などの広汎性発達障害を中心とした研

究と、都市レベルでの子どもたちの健康さの増進に関わる、かなり多くの子どもを対象とした発達臨床心理学研究に取り組んでいる。余暇支援として、彼らの楽しみを増進のために、日間賀島観光協会とイルカ介在療法など、研究室の外で新しい研究の形を創って

室伏広治さんに 博士学位記を授与



米国滞在のため半年遅れ：

三月十九日に中京大学文芸学部で行われた卒業式で、アテネ五輪男子ハンマー投げ金メダリストの室伏広治さん（ミズノ）に北川薫学長から博士（体育学）

卒業式で北川学長から学位記を授与される室伏さん

の学位記が授与された。室伏さんは九七年に体育学部体育学科を卒業して、大学院体育学研究科修士課程、博士後期課程に進み、〇七年九月二十日付で博士の学位を取得した。しかし、北京五輪の日本代表として米国に滞在して練習を続けているため、学位記を授与されていなかった。室伏さんの学位論文のタイトルは「ハンマー頭部の加速についてのバイオメカニクスの考察」。

資格対策講座 国家試験等合格者 (人)

	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全国平均合格率	本学合格率
行政書士	12	21	16	24	39	8.64%	36.8%
宅地建物取引主任者	118	112	204	267	232	17.3%	86.2%
社会保険労務士	4	4	6	13	23	10.6%	41.8%
国内旅行業務取扱管理者	65	52	54	52	89	46.7%	73.6%
総合旅行業務取扱管理者	20	54	39	41	55	35.8%	52.4%
通関士	1	10	20	4	3	7.7%	12.0%
初級システムアドミニストレータ	21	28	30	17	45	31.0%	69.2%
2級FP技能士	(未開講)			47	43	21.8%	72.9%
基本情報技術者	(未開講)			6	23	23.7%	38.3%
計	241	281	370	471	552		
公務員 (国家1種・2種/ 地方上級/国税専門官等)	14	15	16	35	84		

注①：合格者数は資格対策講座を受講した現役学生を対象に集計。
注②：07年度の本学合格者数は3月1日現在の判明分。

中京大学企業セミナー 吹上ホールで 初の学外開催

1月22・23日

本格的な就職活動入り直前に控えた三年生を対象にしたキャリアセンター主催「中京大学企業セミナー2008」が一月二十二、二十三の両日、名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)で開かれた。

企業セミナーは前年まで名古屋、豊田両キャンパスで二月に開催してきたが、キャリアセンターは三年生により早く就職への備えと

各業種290社がブース 3年生延べ28000人参加

本格的な就職活動入り直前に控えた三年生を対象にしたキャリアセンター主催「中京大学企業セミナー2008」が一月二十二、二十三の両日、名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)で開かれた。

がここ数年急激に増えたことなどもあって、初めて会場を学外に求めた。運営に

は優良企業に内定している四年生も協力した。

参加企業は、二十三日が百四十七社、

日本銀行名古屋支店、日本放送協会三菱重工工業、三菱東京UFJ銀行など各業種を代表する企業が同会館二、三階の会場にそれぞれのスペースを設け、人事担当者らが次々と訪れるリクルー ト姿の学生に事業内容などを説明し、質問に応えた。

「学生は皆熱心」

参加した学生は二日間で延べ二千七百八十二人に達した。参加企業から回収したアンケート用紙には「学生たちの態度は一樣に熱心で感心した。有意義な催しだった」「しっかりと学生が多かった。来年も参加したい」などと好意的な意見が目立った。

キャリアセンターは〇九年度以降も学外での企業セミナー開催を検討していく。



2日間で延べ28000人の3年生らが参加した中京大学企業セミナー2008

〇七年度各種国家資格試験と主要公務員試験の現役合格者数が最終的にまとまった。〇八年に入

行政書士39人

て五百五十二人となった。国家I・II種や地方上級

職などの主要公務員試験に

国家資格合格550人超す 主要公務員は前年の2.4倍

十九人は愛知県全体の合格者(四百二十人)の九.三位を記録したとみている。

〇八年度資格対策講座の

学生の皆さんへ

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)理事長で多摩大学学長の中谷巖さんを講師にお招きした経済学部学術講演会「文明的視点から見た日本」が十二月十八日、名古屋キャンパスで開かれた。

〇八年度資格対策講座の

中谷巖さんを 招いて講演会

経済学部



日米の文化を語る中谷さん

定にも影響力を持つ、日本を代表するマクロ経済学者。講演会では、経済学部の学生たちに、日本と米国の企業風土の違いについて、「日本は文化や歴史に依存し、米国は文化を表面に出してはいけない。米国は文化を表面に出してはいけない。米国は文化を表面に出してはいけない。」

就職視野に学科をPR 3年生が英語で研究発表

国際英語学科

企業で活躍中の人たちを前に英語で
研究発表する学生たち



22社34人の社員招き

国際英語学部国際英語学科の三年生が一月三十一日、名古屋キャンパスで、企業の皆さんを前に研究発表会を開いた。就職を視野にいたれた同学科のPRが目的で、同学科三年生全員が企画、運営に携わった。

研究発表を行ったのは、全員が出場し、審査員となった事前選考会で選ばれた四グループ。Color Magic(色と生活の関係)やFair Trade(不正な取引を許すな)など、学生ならではの

2008年度 在学生の学費 (単位:円)

項目	年次	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金					
		200,000			
授業料	法・経済学部	730,000	735,000	745,000	755,000
	現代社会学部	730,000	735,000		
	社会学部			745,000	755,000
	文学部	750,000	755,000	765,000	775,000
	国際英語学部(国際英語)	760,000	765,000	775,000	785,000
	国際英語学部(英米文化)	750,000	755,000	765,000	775,000
	国際教養学部	780,000			
	心理学部	785,000	790,000	800,000	810,000
	経営学部	730,000	735,000	745,000	755,000
	総合政策学部	780,000	785,000	795,000	805,000
	情報理工学部	860,000	865,000	875,000	
	情報科学部				880,000
	生命システム工学部		860,000	870,000	880,000
	体育学部	815,000	820,000	830,000	840,000
教育充実費	法・経済学部	225,000	220,000	220,000	215,000
	現代社会学部	225,000	220,000		
	社会学部			220,000	215,000
	文学部	225,000	220,000	220,000	215,000
	国際英語学部(国際英語)	275,000	270,000	270,000	265,000
	国際英語学部(英米文化)	235,000	230,000	230,000	225,000
	国際教養学部	235,000			
	心理学部	270,000	265,000	265,000	260,000
	経営学部	225,000	220,000	220,000	215,000
	総合政策学部	225,000	220,000	220,000	215,000
	情報理工学部(情報システム工・情報知能)	305,000	300,000	300,000	
	情報理工学部(情報メディア工)	340,000	335,000	335,000	
	情報理工学部(機械情報工)	340,000			
	情報科学部(情報科・認知科)				295,000
情報科学部(メディア科)				330,000	
生命システム工学部		335,000	335,000	330,000	
体育学部	295,000	290,000	290,000	285,000	
体育学部特別施設設備費	50,000	50,000	50,000	50,000	
実験実習費	心理学部	30,000	10,000	10,000	10,000
	経営学部	30,000			
	情報理工学部(情報システム工・情報知能)	60,000	60,000	60,000	
	情報理工学部(情報メディア工)	95,000	60,000	60,000	
	情報理工学部(機械情報工)	60,000			
	情報科学部				60,000
合計	生命システム工学部		60,000	60,000	60,000
	体育学部	40,000	20,000	20,000	20,000
	文学部	6,000			
	国際英語学部(国際英語)	250,000	350,000		
	法・経済学部	1,155,000	955,000	965,000	970,000
	現代社会学部	1,155,000	955,000		
	社会学部			965,000	970,000
	文学部	1,181,000	975,000	985,000	990,000
	国際英語学部(国際英語)	1,485,000	1,385,000	1,045,000	1,050,000
	国際英語学部(英米文化)	1,185,000	985,000	995,000	1,000,000
	国際教養学部	1,215,000			
	心理学部	1,285,000	1,065,000	1,075,000	1,080,000
	経営学部	1,185,000	955,000	965,000	970,000
	総合政策学部	1,205,000	1,005,000	1,015,000	1,020,000
情報理工学部(情報システム工・情報知能)	1,425,000	1,225,000	1,235,000		
情報理工学部(情報メディア工)	1,495,000	1,260,000	1,270,000		
情報理工学部(機械情報工)	1,460,000				
情報科学部(情報科・認知科)				1,235,000	
情報科学部(メディア科)				1,270,000	
生命システム工学部		1,255,000	1,265,000	1,270,000	
体育学部	1,400,000	1,180,000	1,190,000	1,195,000	

を依頼して回った。研究発表終了後、懇談会も実施。約百人の学生が企業の皆さんと効率よく交流できるように、事前にテーブルトークセッションを組んだ。

「全員一丸となり取り組んだ」

研究発表会は今年で四回目。Grab Your Dreams(夢をつかめ)のテーマを掲げ、一丸となって取り組んだ。実行委員長の大藪梨鈴さんは「この二カ月間は研究発表会中心の毎日だった。チームワークとチャレンジ精神が成功の鍵だった」と語った。



体育学部 バラエティ豊かに 創作舞踊発表会

今年度の体育学部創作舞踊発表会を十二月二十二日に豊田市民文化会館大ホールで開いた。写真

体育学部で舞踊を受講している学生たちの作品を中心とした発表会で、昨年よりも作品数が増え、約三時間の上演でバラエティ豊かな楽しい会になった。来場の皆様からも驚きとともに、好意的な声を多くいただいた。(体育4・石川 美樹)

私は今回、実行委員長を務め、大変で不安な面もあったが、部員や多くの先生方のサポートで仕事を進めることができた。すべての出演者が協力的でスタッフ側のお手伝いもしてくれて、スタッフと出演者が一つになつて作り上げた発表会を多くの方々に観ていただけたことがとても嬉しい。

中日ドラゴンズ球団事務所に調査結果を報告する学生たち



グッズの多様化など提案

現代社会学部の三、四年次の専門科目「調査研究法」を履修している学生の代表十二人が二月二十一日、名古屋におけるプロ野球文化のテーマで調査分析した結果を中日ドラゴンズ球団事務所に報告した。

同テーマで調査し、球団事務所に報告したのは二回目。学生たちは一回目(〇六年十一月)の反省点を踏まえ、明確で、説得力のある内容に仕上げた分析結果と提案をプレゼンテーションした。「女性向けや日用

現代社会学部

「名古屋のプロ野球文化」調査結果、中日球団に報告

総合政策学部



最優秀賞に選ばれた宮内プロジェクト研究チームの学生たち

最優秀賞『鞆の製品企画』

5チームが競う

学生がテーマを設定し、課題を解決していく総合政策学部の科目「プロジェクト研究」(他学部の演習に相当)の最終報告会が一月十一日、名古屋キャンパス431教室で開かれた。

発表者は、三年生十八チーム(二〜五人で構成)の中から二度の予選を勝ち抜

企業マンらも審査員に プロジェクト研究報告会

いた五チームで、一年十カ月かけて調査・研究した成果を、同学部の教員や学生審査員としてお招きした企業や自治体の皆さん(十六社十七人)らにプレゼンテーションした。

最優秀賞に輝いたのは、宮内美穂准教授の指導を受け、『鞆の製品企画』(ベビーマバッグ)に取り組んだ宮内プロジェクト研究チーム(鈴木唯子さん、山田ひらみさん、渡辺美斗さん)と美さん、渡辺美斗さん)。

市場調査↓問題提起↓試作↓改良を繰り返して行うプロセッスや、最終的に辿り着いた試作品の提案方法などが評価された。

総合政策学部は〇五年四月に開設。報告会は今年度が第一回で、学生委員三十人が一年十カ月かけて準備し、運営にも当たった。

5大学22チームが参加 マーケティングインカレ 久保田ゼミ8人が優勝



優勝を喜ぶ久保田進彦准教授(後列左から二人目)とゼミの学生たち

公共広告による少子化問題打開策を提案

勝した。

発表テーマは「公共広告を利用した少子化に対する意識向上」。

久保田ゼミ生たちは、少子化問題の解消には市民の意識向上が不可欠とした上で、公共広告と消費者発信型メディア(CGM)を組み合わせて市民に問題提起すること

品など、グッズの多様化を図る」「OB選手との交流会等、野球を通じた人のつながりを大切にする」など、いくつかの提案をした。

小宮寛治・中日ドラゴンズ取締役営業担当から「学術的な調査結果にとどまらず、人のつながりなどに着目した発想は参考になった」と講評を得た。発表した学生は「緊張したが充実感があつた」「調査技術が身に付いた」と語っていた。

調査はナゴヤドームの観客千五百八十人(六月二十三日・中日対ソフトバンク戦、七月五日・中日対広島戦)に対し、ドラゴンズファンにアンケートなど、十九項目に及ぶアンケートをインターネット方式で実施。同学部の有志約八十人の協力のもとに行われた。

体育学部・体育学研究科

健康運動指導士の養成校に認定

体育学部と体育学研究科が十二月二十八日、財団法人健康・体力づくり事業財団から健康運動指導士養成校に認定された。

体育学部健康科学科と体育学研究科(本学体育学部卒業)の学生は、指定された健康科学科履修科目(三〇科目・五十七単位)の単位を修得すれば、講習会(百二十単位・八百八十時間、費用二十七万円)を受験資格を得られる。対

単位は科目履修生を補充する。健康運動指導士は、生活で活躍している。

健康増進センター、アシレチッククラブなど

優勝した久保田ゼミの皆さん。(敬称略)

桐生守生、鄭麗珍、為永祐美、長谷川由依、羽場文香、以上三年。井上敏希、柳舞山本彩香、以上二年。



「心に残る演奏」に集中する部員

「心に残る演奏」に集中する部員... この演奏会で学んだ多くのことをこれから...

私たち吹奏楽団は、十一月十五日にアートピアホールで、第二十四回定期演奏会を行った。

演奏会は毎年、オープニングステージ・企画ステージ・シンフォニックステージの三部構成で、一年間の集大成として行っている。

吹奏楽団 第24回定期演奏会

文化会クラブ発表会

の活動に生かし、より良い演奏会を作り上げるよう努力していきたい。

(身体シ2・太田 裕矢)

「Night Flight」を演奏する部員たち



ジャンル幅広く

軽音楽部 第35回リサイタル

とったりリサイタルには、年末にも関わらず、沢山の来客様に来ていただいた。

軽音楽部New Sounds Jazz Orchestraは十二月二十七日、名古屋・天白文芸小劇場で第三十五回リサイタルを行った。

今年で三年生は引退し、新メンバーに変わるが、今後も変わらぬご支援を。

(心理3・伊藤 睦)

私たち演劇部◎BEGIN THE KIDは、年に四回の公演を行っている。



なくした記憶を取り戻す旅の物語「Traveler」を演じる学生たち

皆で力合わせて完成

演劇部◎BEGIN THE KID 17代目卒業公演

十三日に劇場ナビロフトで、十七代目卒業公演を行った。今回は卒業公演ということで、四年生が中心となつて十一月下旬から稽古を行った。

毎年三回の公演を行つても九月から練習を続けてきた師走公演(十二月一、二日、七つ寺共同スタジオ)は、三回生の引退公演でもあり、自然と練習に熱が入る。



師走公演を終え、益々団結力が増した劇団いかづち

公演でまた一つ成長

演劇部劇団いかづち 師走公演

本番は天候に恵まれたこともあり、たくさんのお客様が来場し、大盛況のうちに終わつた。今回の公演で多くのことを学び、また一つ成長できた。

山本彩さん(法律2)の作品「ローズ」

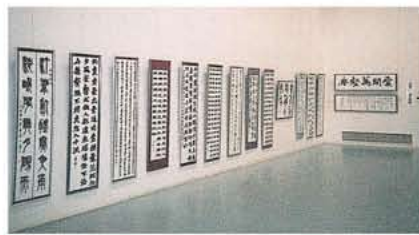


見や感想をいただいたので、今

各務佐和子さん(言語表現2)の作品「漂う」



会場には30点の力作が展示された



(日本文学2・小林 雄太)

第46回 梅村学園美術展

1月29日〜2月3日 名古屋市民ギャラリー矢田

写真部

今年は新しい試みとして、テーマ作品と自由作品の二

人二作品を展覧した。テーマ作品は部員がそれぞれ決めたテーマにそつて撮影してきたもので、自由作品は

今回は、大小様々なキャンバスや掛軸に色彩鮮やかな風景画や空想絵画、人物画を描いた、部員それぞれ個性あふれる作品が会場に並んだ。ご来場いただいたお客様からは高い評価が

美術部

後の作品作りに生かしていきたい。

今年は写真部、書道部、美術部の三クラブ合同の力作が一つの展示場に並べられた。様々な芸術が調和し、

書道部

部員一人ひとりが普段は書く機会のない大きな字の作品や、自分の好きな詩などを思い思いに書き、個性あふれる展覧会となった。

(法律1・釜井 梨皇)

名古屋
キャンパス

新5号館(8階建て)が竣工

29講義室 春学期から使用

学生ホールも

名古屋キャンパスで行われていた旧5号館と旧六号館の改築工事が終了した。二つの建物は新5号館として二つになり、〇八年度春学期の授業から使われる。新しい五号館は八階建て、



八事交差点近くから見た新5号館(向こう左側の建物、右側はセンタービル)



最新AV機器を備えた明るい講義室

延べ床面積七、三三五㎡で、高さも床面積もほぼ倍増。二八階に小教室、中教室、ゼミ室など多様な講義室二十九室(全室車イス対応)を整備。一階は中庭と連続した明るいエントランスホールと、四号館から移る教務部(教務課、学生課)が入り、約七十席の学生ホール(愛称オーヴェスト)やパウダールーム(同フロアコネ)なども備えている。

教務課、学生課の学生窓口は広いスペースを確保して開放的で明るくなった。学生が利用できるパソコンを置くなどサービスの充実も図っている。新5号館は隣のセンタービル(〇号館、九階建て)とアーチ型壁の外観を統一

させて、高さを同じにしており、八事交差点や四谷通りからは二つの大きな建物

が一体的に見えるため、名古屋キャンパスの新しいシンボルとなりそう。



メディア科学科の卒業制作展

今年で五回目となる情報科学部メディア科学科卒業制作展(写真)を、二月十七日と二十、二十四日の二会期に分けて、名古屋キャンパスのアートギャラリー、C・スクエアで開

催した。メディアアートを軸に様々な分野を勉強してきた大学生生活の集大成である卒業制作発表会から、選ばれた二十名十九作品を展示。写真、映像、CG、インスタレーション、パフォーマンスなど多種多様な内容で、大学生生活を締めくくりに相応しい展覧会となった。卒業後この経験を活かしていきたい。

委員・牧野(優)

芝居交え3ステージ

混声合唱団 第39回定期演奏会

定期演奏会は混声合唱団の一年間の活動の集大成である。今年は二月十日に名古屋文化小劇場で、第三十九回定期演奏会を行った。当日は全三ステージ。芝居客様に多くの拍手をいただいた。集大成にふさわしい演奏会になった。

来年は今回以上のステージができるよう、団員一同合唱を楽しみながら、精一杯活動していきたい。



表情豊かに合唱する団員たち

糧に、今後もっとよい公演活動をしていきたい。(言語表現2・伊藤 証)

リーダーズキャンプで研修

班ごとの発表を熱心に聞く体育会員



体育会

主将ら100人が参加 青戸慎司さん(元五輪選手)講演

今回で四十一回目を迎えたリーダーズキャンプを二月十七日、フルーツワーパーク(神戸)で行った。テーマ「協力」の下、各クラブの主将・主務が約百人参加した。今年には元陸上競技オリンピック選手、青戸慎司先生(本学職員)を招き、オリンピック出場までの道のり、日常生活における努力や体調の気配り、スポーツマン(広報局・経済1・久和検査)

文化会

下呂で133人が交流 活動の問題点を討論



クラブ活動の問題点と改善策を発表する一般会員

文化会リーダーズキャンプを二月十一・十三日、岐阜県下呂市で開催した。今年には参加者が百三十三人と例年より多く、クラブ間や学年間等の交流を活発に行った。リーダーズキャンプの主な活動は会議で、部長や会計等の役職だけでなく、一般会員も「クラブ活動の問題点」について話し合った。(企画運営局長・言語表現 3・岡田 智穂)

今回の参加が文化会に活動に役立つことを役員一同願っている。



体育会 第52代 執行部 任期 07年11月から1年間

幹事長・小谷直也(体育3)剣道部▽副幹事長兼企画局長・浅井亮二(健康2)ソフトテニス部▽会計局長・板津有紀(国際英語2)アイスホッケー部▽編集局長・成田紘章(体育2)陸上競技部▽運営局・森順平(体育1)準硬式野球部▽広報局・久和稔浩(経済1)卓球部▽総務局・阿武美菜子(言語表現1)陸上ホッケー部▽書記局・鈴木聖平(体育1)サッカー部 (敬称略)



「新しい伝統作ろう」 幹事長 小谷 直也 (体育3)

私たち第五十二代体育会幹事会は、十一月七日の役員改選により発足した。半世紀にわたり築き上げてきた「強い中京大学」を基盤に、更なる飛躍を目指し、会員の皆さんをしっかりとサポートしていきたい。この度、幹事長という大役を任せられたので、幹事会役員や各クラブ員と協力し、体育会組織の発展に尽くしたいと思っている。今まで受け継がれてきた伝統を大切にするとともに、各クラブがよい成績を残せるように、活動しやすい環境を作り、新しい伝統を作りたい。



文化会 第54代 執行部 任期 07年12月から1年間

幹事長・窪田崇人(心理3)考古学研究会▽副幹事長・堀幸一郎(情報3)演劇部◎BEGIN THE KID▽学術委員長・服部正嗣(心理3)考古学研究会▽芸文委員長・谷山紘樹(経営3)演劇部劇団いかづち▽豊田委員長・平井佑樹(認知3)演劇部◎BEGIN THE KID▽会計局長・野寄早紀(心理3)囲碁倶楽部▽企画運営局長・岡田智穂(言語表現3)漫画研究会▽総務局長・大杉崇人(法律2)法律研究会LAWPRAY▽豊田役員総務・安藤祐人(社会2)児童福祉活動部▽書記局長・津谷公章(法律1)法律研究会LAWPRAY▽豊田役員庶務・山城亜恵(言語表現2)出版部▽芸文監査・奥村新一(経営3)漫画研究会、足田光孝(経済3)吹奏楽団▽学術監査・渡辺宙輝(法律3)児童文化研究会▽豊田監査・水谷雄樹(情報3)コンピュータ研究会▽議長・高橋希(言語表現3)美術部 (敬称略)



「現状に満足しないので」

第五十四代文化会執行部は、十二月二十二日に発足した。五十三年の永きにわたり受け継がれてきた伝統を引き継ぎ、各クラブが充実した活動ができるよう役員一同努力していく。現在文化会が抱えている問題には、執行部の役割や

幹事長 窪田 崇人 (心理3)

考古学研究会

業務の見直し、クラブ会員数の減少などがあるが、役員や加盟クラブの部長連と議論を交わし、一つ一つ打開策を見つけ、実行していきたい。発表会を始めとする文化

会のあらゆる行事、業務においても、現状に満足することなく、更に発展するよう心がけていきたい。

07年度 体育会の功労者

国内外で活躍の131人を表彰

体育会(竹内外夫会長)は、十二月八日、豊田キャンパス411教室で〇七年度功労者表彰式を行い、国際大会・全国大会で優秀な成績を収めた百三十一人を表彰した。表彰されたのは次の皆さん。(敬称略)

- ▼体操競技部 外村和才(体育4)黒田真由(体育1)▼陸上競技部 武川美香(体育4)早川杏沙(健康4)山城美貴(荻原真人、篠崎暢哉(体育3)江島成美、奥寛子(体育2)小野祥子、宮澤陸、内多愛子(体育1)▼水泳部 富山貴士、福地尚美(体育4)白井宏幸、佐々木学、鈴木魅紅、木村真野、木村紗野(体育3)箕成貴之(体育2)佐々木絵里(体育1)▼自転車競技部 岩本拓明(体育4)南拓哉(体育3)和田見里美(体育2)大西周太(体育1)▼ウエイトリフティング部 水野佑哉(体育1)▼フエンシク部 田熊光菜(体育4)安田拓紀(体育3)松井詩織(体育2)▼スケート部 安藤美姫(体育)

- 竜也(体育4)平川陽一(健康4)光田修(体育3)小坂井悠平(健康3)村上卓也、柳竜次(体育2)荻野健太郎(健康2)▼アルティメット サークル 村野香菜子(社会4)西澤信二(認知4)鈴木吾宙、茨裕一(身体シ4)久保田英里、加島多美、北川菜美子(体育4)加藤由希子、西村智子、高橋香緒里(健康4)澤村理順、金下元記、藤川明奈、水上紗央里、水野由惟、福田由香理(体育3)清川由揮、笹田将寛、鈴木研太、太田菜美(健康3)上岡愛(身体シ2)福田慧、片山雄介、黒野将司、湯本章、大羽地貴俊、大久保香那、菅原英里、林愛子、三宅佐都美(体育2)黒野裕介(健康2)堀越博志、須崎立也(現社) 社会1)舟見洋祐(情報シ)石走卓也、太田翔大、石川信広、青木翔太、柴田晃一、岩田憲人、齋藤聡明、古庄潤平、市来麻帆、稲垣和華羽、久田菜未、福沢舞子、小林久美(体育1)成瀬祥子、早川麻衣子、平井美帆、大村ひろみ、風岡愛、田中花奈、出来香織(健康1)

同窓会が創立50周年

本学同窓会(上方清会長)が創立五十周年を迎え、九月二十日(土)、記念のイベントを催す。

9月20日に記念イベント アイスアリーナ見学会など

同窓会は五八年(昭和三十三年)三月、「母校の向上発展と会員相互の温交和親を図る」ことを目的に創立。卒業生を正会生を含め十万人を突破した。記念のイベント(予定)は、九月二十日午後、豊田屋で祝賀会を行う。あり、その後、名古屋・伏見のホテル、ヒルトン名古屋で祝賀会を行う。

キャンパスで講演会(講演者は未定)、スポーツ施設の見学会、アイスアリーナでのアイスアリーナ滑走する予定。祝賀会でギョアスは功労者表彰、豪華景品ゲート選め当たる抽選会なども行われる。

練習見学会
同窓会員には後日、校舎などが
友会本部(☎052-835-6069)より記念イベントの詳細な案内書が送られる。

北海道支部に学校部会 30人余集い設立総会



同窓会北海道支部学校部会の設立総会に出席した皆さん

席し、片岡武司校友会本部長、青戸慎司同窓会常任理事も同席した。

全国3番目、会員214人

一月十日、ホテルポールスター札幌で、北海道支部学校部会設立総会が開催された。部会長に藤岡道雄が就任し、会員二百十四人(行政職十七人を含む)で発足した。設立総会には三十人余が出席した。

最初に青戸さんの記念講演があり、設立総会では後藤則忠支部長の挨拶、規約等の承認、役員選出等が行われた。続く懇親会は、片岡本部長の挨拶と乾杯の音頭で始まり、会員それぞれが研鑽に努めてレレアルアップを図り、中京大学卒業生としての誇りを持ち、教育の向上に努力することを誓い合った。最後に学歌を全員で高らかに斉唱した。

学校部会設立は、愛知県三重県などに次いで七番目(校友会本部)

八重山地区同窓会

20年ぶりに開く 10人出席、梅村総長も

沖縄県八重山地区同窓会が一月十七日、石垣島のホテルで、同地区の全同窓生十五人のうち十人が出席して二十年ぶりに開かれた。



元気な顔が集まった八重山地区同窓会

細心の注意を

あの手この手の悪質商法 勧誘にのらずに無視する

細心の注意を。

キャッチセールス「アンケートに協力を」などと近づくと手口が一般的。目的は

買われ、別々の友達を誘えようか。……友達を失い、借金だけが残り、甘い話には注意を。

学生課

小川裕司さん(日本郵船韓国) C・スクエア写真展



韓国・ソウルの日本郵船現地法人の副社長、小川裕司さんが一月二十二日、名古屋キャンパスのC・スクエアで写真展を開いた。

世話になっている小川さんが、本学で写真展を開くのは三回目。前年に続き韓国が写真の舞臺、今年「ソウルフル・ソウル」と題して展示。「儒教の伝統からくる緊張感と、超現代的面をあわせ持つ二千万人都市」ソウルの二つの顔をそれぞれセピア色と単色ブルーの写真で表現した。

地元を代表して数重夫さんと、続いて梅村清弘総長、理事長、宮城鐵夫沖縄県支部長が挨拶し、乾杯の後、「昭和三十五年ごろは名古屋まで三日もかかった」な

年の甲子園快進撃の陰に中京大学人脈の支えがあったことなどを話され、盛り上がった。素晴らしい同窓会だった。(校友会本部)

三重中京大学ニュース

フォーラムで意見を述べる現代法経学部
の学生(松阪フォーラム実行委員会提供)



男女共同参画 松阪フォーラム 学生5人が意見

三重中京大学現代法経学部の学生五人が二月九日、松阪市産業振興センターで開催された「男女共同参画松阪フォーラム」にパネリストとして招かれ、参加者との意見を交換した。

性差にとらわれない社会を考えるフォーラムは、松阪市と、市民組織の松阪フォーラム実行委員会の共催。これまでに十一回開いてきたが、中高年者の参加者が多いため、若い世代の声を

聞こうと、前年度大学祭実行委員長の小林昇太さん(三年)や文化会書記の野間里早子さん(二年)ら男子二人と女子三人の学生を招いた。

学生たちは、男子の育児休暇取得や家事の分担などについて「当然」と理解を示す一方で、親との同居について「長男だからという理由で同居を義務付けられるのはおかしい」などと、素直な考えを述べた。約二百人の参加者からも、親の介護問題についての質問や反論が飛び出し、活発な討論が続いた。

公立幼稚園など内定の10人 後輩にアドバイス

三重県内の〇八年度市町職員採用試験に合格し、公立幼稚園や保育園への採用が決まった三重中京大学短期大学部こども学科の二年生十人が二月五日、後輩の一年生全員に体験を通して得た受験必勝法を語った。

「公務員合格発表」先輩が語る受験準備から合格までのプロセス」と題した体験発表に臨んだのは、女子七人と男子三人の合格者全員。「面接は自分の言葉で話す」「社会の出来事に関心を持つ」と、「普段の授業



後輩に受験体験を語る公務員試験合格者



40社が参加、熱気に包まれた合同就職説明会

をおろそかにしない」などと、受験準備や本番での留意点をあげ、目標に向かって丁寧にこたえていた。

昨年九月に行われた各市町の試験では、同学科から一次試験を通った十六人が受

学生220人が参加 中京大と合同就職説明会

三重中京大学と中京大学の合同就職説明会が二月十日、三重県松阪市のホテルで開かれた。

十年目となる説明会には、三重県内や名古屋市内に本社や営業所を置く四十社が参加。来春卒業予定の両大の学生約二百二十人が、リクルート・ファッションで訪れ就職に備えた。また、四月から社会人となる三重中京大学と短期大学の学生十人が、会場案内スタッフとして後輩たちの就職活動をサポートした。

自社を紹介するパンフレットや製品を並べた各企業のブースでは、人事や業務担当者や業務内容や採用条件などを説明したり、学生の質問にこたえていた。

就職戦線は、好調な景気と団塊世代の大量退職期を迎えて売り手市場といわれている。しかし、食品製造会社の人事担当者は「求人数は増えているが、求職希望が大手や人気企業、業種に偏る傾向もあり、求人求職とも厳しさは解消されていない」と話していた。

大学院設立10周年記念誌を発売



設立十周年を迎えた三重中京大学院政策科学研究所が、記念誌(A4判、七十五頁、写真)を発売した。

同大学院は九七年、地域社会に役立つ人材育成と実践的な政策研究を目標に設立。学部からの進門戸を開いて夜間にも開講

し、〇六年度末までに六十七人が修士、四人が博士の学位を取得している。

記念誌は、巻頭の佐伯富樹学長と研究科長の寺本博美教授のあいさつに続いて、昨年十月に開催した設立十周年記念講演会での佐々木毅・前東京大学総長の講演「政治と政策」主体・組織・リソースにそくして」を詳報。この後、OBと現役合

わせて二十一人と教員四人の寄稿を掲載した。自治体や企業で働きのがら学んだ社会人院生のOBの寄稿は「大学院に入学したことが人生の転機になった」という内容が目立った。大学院の沿革や設立時と〇七年度のカリキュラム、これまでの博士・修士の学位論文のリストも添えた。

創作ミュージカル活動に助成金

三重中京大学短期大学部こども学科二年生が毎年一回、公演している創作ミュージカル「〇八年度活動」に対して、財団法人・岡田文

化財団(本部・三重県菟野町)岡田卓也理事長から五十万円の助成金が贈られることになった。

同財団では毎年、創造的な文化活動に継続して取り組んでいる三重県内の団体や個人を公募して助成金を

贈っている。〇八年度の助成金は百十四件(助成総額六千五百万円)。このうち創作ミュージカルは、演劇・舞踊分野での活動が認められた。

創作ミュージカルは、二年生全員が学生生活の集大成として、企画から舞台づくり、キャストまで、すべての役割を分担して制作し、松阪市民文化会館で公演してきた。また、昨年一月には初めて地元以外の三重県総合文化センター(津市)の中ホールでも公演し、満員(八百五十席)の観客を集めた。

創作作品・論文コンクール最優秀賞

三重中京大学短期大学部の創作作品・提言論文コンクールが一月二十八日に行われ、池下孝弘さん(こども学科2)の創作作品「デジタル紙芝居」など三点が最優秀賞に輝いた。

コンクールは、日ごろの学習成果を生かして感性豊

かな作品を発表しよう、と、〇五年度から始まった。三年目となる今回は、三部門で過去最多の五十四点の応募があった。他の最優秀賞は次の通り。

▽創作料理 田端薫さん(食物栄養学科2)、「小麦粉・卵・牛乳を使わないドーナツ」▽提言論文 川瀬真実さん(こども学科2)「拒食症と私」

このページのお問い合わせは三重中京大学 ☎0888-29-1112へ





鶴飼選手(左から2人目)を励ます梅村清英理事長(左端)、入監督(右端)

鶴飼健吾選手(サッカー部) ヴァンフォーレ甲府入団

早く試合へ! 決意語る

サッカー部の鶴飼健吾選手(体育4)が、甲府市にフランチャイズを置くJリーグ(二部)のヴァンフォーレ甲府入団が決まり、一月三十一日、梅村清英理事長代理に決意を語った。鶴飼選手は中京大中京高卒。技術力に優れたミッド

フィルダ1(MF)として評価が高く、

全日本大学選手権で3位に

サッカー部

全日本大学サッカー選手権大会の決勝トーナメントが一月七、十三日、東京で

全国地区対抗で2年連続の優勝

ラグビー部

全国地区対抗大学ラグビー大会決勝が一月六日、名

著書紹介

中京大学 総合政策学叢書 No.2 グローバル経営と戦略的クオリティ・マネジメント

宮川 正裕著

Works Published



本書では、グローバルな視野を持つ新たな環境に適應するグローバル経営と、経営や組織の質を向上させるクオリティ・マネジメントの戦略性について論じている。日本企業の国際展開動向や成功事例の研究、海外現地法人を対象とする調査結果を踏まえた提言を含む「日本発のグローバル・オペレーションズ・マネジメント」の研究書として注目される。著者は総合政策学部教授。総合政策学部長。

スポーツ本学勢ら活躍

浅田真央選手が2連覇 安藤美姫選手銀メダル 小塚崇彦選手も銀獲得

フィギュアスケート全日本

3選手ともスウェーデンの世界選手権出場

フィギュアスケートの全日本選手権が十二月二十六

二十八日、大阪・なみはやドームで行われ、女子は浅田真央選手(中京大中京高2)が2連覇を飾った。昨年の世界選手権女王の安藤美姫選手(体育2)も銀メダルを獲得した。男子は小塚崇彦選手(体育1)が

選手は三位だった。男子は小塚選手が八位に入った。浅田、安藤、小塚の三選手は、三月十八日からスウェーデンで開催される世界選手権の切符を手にした。

銀メダルに輝いた。二月十三、十六日、韓国で行われた四大陸選手権でも浅田選手が初優勝。安藤

各種目で好成績相次ぐ

スキー競技部

伊藤みき選手

W杯4位入賞

伊藤あづき選手は宮様国際大会優勝

モーグル

伊藤みき選手(体育2)は、フリースタイルスキーのW杯モーグル第一八戦

森敏選手、国体で連続優勝

複合

スキー競技部の監督兼選手の森敏選手(体育修士1)は、第六十三回国体冬季大会(長野)複合成年男子Bで優勝した。昨年の国体複合成年男子Cに続き、二年連続の優勝。

白川尊則選手 2種目で優勝

スノーボード

白川尊則選手(体育3)は、日本学生スノーボード大会(二月、長野)大回転

行われ、本学サッカー部は三位入賞を果たした。準々決勝は桃山学院大を2-0で下したが、準決勝で法政大に1-4で惜敗。同大会決勝トーナメントへの出場は、八年連続三十回目。〇〇年に優勝。

古屋・瑞穂競技場で行われ、本学ラグビー部が武蔵工大を64-10で破り、二年連続三度目の優勝を果たした。東海北陸地区代表の本学ラグビー部は、初戦(中京大59-12東北福祉大)、準決勝(中京大85-0北九州市立大)、決勝と、全試合大差をつけて勝利した。

瀧上賢治選手 IPC・W杯9位

障害者クロスカントリ

瀧上賢治選手(社会4)勝した。

寺尾悟選手、全日本で総合4連覇

ショートトラック

スピードスケート・ショートトラックの全日本選手権が二月二十三、二十四日、長野県の帝産アイススケートTCで行われ、男子は寺尾悟選手(九八年社会卒・トヨタ自動車)が五百m、

千五百m、三千mの三種目を制し、1、2、3点で総合四連覇を達成するとともに自己の持つ最多優勝記録を十一に伸ばした。大会は、三月の世界選手権(韓国・カンウォン)と世界チーム選手権(中国・ハルビン)の代表選考会を兼ねて行われ、寺尾選手は両大会代表に決まった。

テコンドー

全日本学生テコンドー選手権が二月十日、東京で行われ、ウエルター級に出場した岡智恭仁選手(法律4)が三位に入賞した。テコンドーで本学選手の入賞は初。

清水小百合選手は国体500mで優勝

第六十三回国体冬季大会のスピードスケート・ショートトラックが一月二十九、三十日、長野市で行われ、清水小百合選手(経営1)が五百mで優勝した。

岡智恭仁選手が全日本学生3位

名古屋キャンパスのアートギャラリー

C・スクエア

08年度の開催予定

第81回「日本画滅亡論・展」
(07年9月10日会場)



※下記予定は変更する場合があります。
※下記はC・スクエアの独自企画であり、他に学生作品の展示などを行うことがあります。
※入場無料、日曜・祝日(但し、授業実施日は開館)・中京大学休業日は原則休館。

第83回 4月14日(月)~5月17日(土)

佐倉密展 常若アンビルド — 【オブジェ、インスタレーション】

1967年岐阜県生まれ。2000年から制作している、時間をテーマにした詩的オブジェ=「外詩(かいし)」と、佐倉さんの課題に基づいて制作された応募作品などで構成。

第84回 5月26日(月)~6月21日(土)

野田哲也展「日記」 — 【版画】

40年熊本県生まれ。野田さんは家族や風景やものなどを写真に撮り、日付の入った版画として制作してきた。本展は07年、東京藝術大学退任後の新作を中心に構成。

第85回 6月30日(月)~7月26日(土)

カール・ストーン展 — 【映像・音響インスタレーション】

63年米カリフォルニア生まれ。情報理工学部教授で電子音響音楽の作曲家・演奏家。映像と音響を使ったインスタレーションとライブパフォーマンスを予定。

第86回 9月16日(火)~10月11日(土)

平町公(いさお)展 — 【絵画】

59年広島県生まれ。80年代から描く喜びにあふれた、巨大な絵画に取り組んでいる。今回は名古屋城にちなんだ1枚の新作絵画でC・スクエアの壁面を埋め尽くす計画。

第87回 10月20日(月)~11月15日(土)

中里和人(かつひと)展 — 【写真】

56年三重県生まれ。東京造形大学准教授。三重高校卒業生。大学では地理学を専攻し、地誌的な興味や観点からの風景写真を得意とする。本展は未発表の新作で臨む。

第88回 11月24日(月)~12月20日(土)

山本一弥展 — 【彫刻】

78年高知県生まれ。哺乳瓶、富士山、牛肉、キューピーの頭など、既製の彫刻主題にはないものをモチーフとした、ポップな感覚に満ちた彩色木彫作品が並ぶ。



本誌「中京大学広報」はホームページでもご覧いただけます。
本学ホームページ(1面題字横にアドレス掲載)の大学概要ページに第二八号(〇一年五月発行)以降の本誌をPDFファイルで掲載しています。

「ハイカラな親の勧めでス
手を経てコーチになられま
したね。」

私がつ張り出されました。
古屋には指導者がおらず、
彼女には、大好きで楽しい
とに即反応できる勘のいい

子でした。こうすればでき
る、というものではないで
すね、トリプルアクセルは

「伊藤選手は日本の選手
は?」

「アルペリル五輪の時

でもご覧いただけます。

「中京大学広報」は本学HPにも掲載

でもご覧いただけます。

健康・余暇・スポーツシリーズ ④

「愛されるスケート選手」 育て!と願って

フィギュアスケートコーチ
中京大学・同附属中京高校フィギュア
スケートスペシャルアドバイザー

山田 満知子さん

お相手
体育学部准教授
来田享子さん

伊藤みどり選手に続き 日本人らしい良い面を

伊藤選手とは
一緒に生活し、選
手として育ててい
かれたわけですね。
「五歳の頃、私の
生徒になりました。」



満員の会場で来田享子准教授(壇上④)を相手に熱心に話す山田満知子さん(同④、上も)

れたと思いま
は相当なプレッシャーを感
じていたと思います。結果
は銀。期待に応えられなか
ったとマスコミを前に謝っ
た。それがまた好印象を
与えました。彼女は迷った
が、私は引退を勧めました。
いま活躍中の選手たち
に望むことは?
「魅力的な選手たちの活躍
で、スケートリンクはいま
非常に混んでいます。選手
には、集中して練習できな
い状況とも言えます。
そのなか、海外へ行くこ
とも一つの選択肢だと思
います。いろいろなものを見
て学んでほしいし、逆に日
本選手の良い面を外国の人
たちに見ていただきたい。
昔は鬼の山田コーチ、
今は仏の山田コーチとい
う印象ですが。」
「若いときは無我夢中。経
験を積むうち、省いていい
こと、力を入れるべき点が
わかってきました。それに、
伊藤選手に相当でこずった
ので、いまはどんな子が来
ても平気という気持ち(笑)。
私は本来、強化型でなく、
普及型のコーチ。スケート
を通じて皆さんに愛される
子を育てていきたい。」

公開講座

公開講座の開
催はホームペ
ージで順次ご
案内します。

そして現れたのが伊藤みどり
さん。やめるにやめられ
ず、この道まっしぐらとな
りました。

スケートが、やらされるス
ケートに変わりましたが

伊藤選手は世界で初め

「彼女が外国

「若いときは無我夢中。経